
場版 魔法少女リリカルなのは Brave Force of BatorFrontier

無神

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

劇場版 魔法少女リリカルなのは Brave Force of Bator Frontier

【Nコード】

N6351Z

【作者名】

無神

【あらすじ】

古代ベルカの騎士、ゼロ・エルグランドの新たな戦いの記憶――

眠れる流星

そこは…まるで、古代神殿のようで
辺りを見渡すと壁にはツタが生い茂っており、中には今にも崩れそ
うなほどボロボロの跡地もあった。

「ここが……聖王の玉座……」

一人の青年は、玉座の下が地下に続く隠し階段があることに気付き、
その階段を降りて行く。

「……この先を進んで行けば……」

神殿の奥地、そこは大きな空洞になって青年はその先を進んでいく。

「！……これはッ……」

奥地…青年の目の前に巨大な氷の塊が見える。すると、青年は笑み
を浮かべ、氷の塊にてを触れる。

「ようやく会えたな…目覚めの時だ」

氷の中にいる黒い鎧を身に纏う者――

その者の瞳がゆっくりと開いていく…

彼の名は…流星の黒騎士…

『ゼロ・エルグランド』

孤高の機動六課（レジスタンス）

一ヶ月後――

ミッドチルダ

ドオオン???

「きゃあああああ!!」

「逃げろお!!早く地下に避難するんだあ!!」

「急げ!奴らが来るぞツ!!」

突如、ミッドチルダが数十体ものガジェットドローンに攻撃を受けていた!

そしてガジェットに怯え、次々と地下に逃げ込むミッドの民間人。といっても、人数はほんの15人くらいだが…

ギューーーーーーッ！

「おい、あれを見る！」

「六課だ！助けに来てくれたんだ！」

「うおりゃああああああ！！」

青い髪に白いバリアジャケットを着た少女がガジェットドローンの
一体を破壊する！

スバル「スターズ3 スバル・ナカジマ、行きます！」

ガジェット『ーーーーー…！』

スバルはガジェットのビームを掻い潜り、一体ずつ確実に破壊して
いく。

すると、目の前に巨大な球体型ガジェットが現れる！

ガジェット『ーーーーー』

スバル「うわっ！？くっ……はあ！！！」

球体型ガジェットの触手がスバルに向けて放たれる！だが、触手を素
早く回避し、球体型ガジェットに肉薄する！

ガジェット『ーーーーー…！』

スバル「そおこだあああああ!!」

ギューーーーーーッ!!

右手に装備したデバイス『リボルバーナックル』で殴りつけるが、特殊なバリアに防がれ、スバルはリボルバーナックルを無理矢理押し込んでいく!

スバル「ぐう…うおおおお!!」

ガガガガガガガッ!

スバル「一撃い…必倒ッ!」

無理矢理押し込んだリボルバーナックルでバリアの内側から破壊し、左手周辺に圧縮・固定させた魔力をガジェットの目前に留まらせる。

スバル「デバイン…」

スバル「バスター…?」

加速させた右拳で圧縮された魔力を撃ち出し、一気に放出させる! 強力な破壊力と貫通力で周囲と破壊したガジェットの後方にいたガジェットは砲撃に巻き込まれ爆散していく!

「スバル!」

スバル「ティア！それに、エリオとキヤロ！」

スバルの下にティアナ・エリオ・キヤロが駆け付ける。

ティアナ「敵の数は…？」

スバル「まだ来るよ。たぶん、一個大隊くらい…」

ティアナ「確実に此処を落としに来たわね…でも、よかった。こっちも増援を呼んでおいて」

スバル「それじゃあ！ー！ー！…」

ティアナ「ええ！管理局の“エース オブ エース”と…それから“彼”も来るわ！」

エリオ「スバルさん！ティアナさん！」

キヤロ「前方、敵影多数…来ます！」

キヤロの召喚獣フリードリヒに乗り、上空から見ていたエリオとキヤロから報告が入る。

スバルは左掌に右拳を打ちつけ気合いを入れる！ティアナは上空にいる二人に指示を出し、己のデバイスを構える！

スバル「よおしっ！あの人達が来るなら百人力だね、ティア！」

ティアナ「増援が来るからって気を抜かない！私たちは…多くでも敵を墜としていくわよ！」

ス・エ・キ「了解!!」

??? side

「そろそろ時間だよ。行こう」

「……向こうは大丈夫なのか？」

廃墟となったビルの頂上…そこで白いバリアジャケットを着た少女と黒い甲冑を身に付けた男は話す。

「あつちはフェイトちゃんとノエルくんが頑張ってくれてる。だから、私たちはフォワード陣に加勢して少しづつ敵を倒していこう！」

「ああ！はやて達がいらない今、このミッドチルダを守れるのは機^{おれ}動六課^{たち}だけだ！……頼むぜ、フェンリルッ!!」

フェン『Yes sir』

「行くよ！レイジングハート…！」

レイ『stand be ready』

ビルの頂上から桜色の閃光と翠色の閃光が飛翔する！

なのは「スターズ1 高町なのは、行きます！」

ゼロ「スターズ2 ゼロ・エルグランド、出るッ！」

孤高の機動六課（レジスタンス）（後書き）

無神「どうも、無神です」

ゼロ「序盤から元気ねえけど、どうした？」

無神「まさかのタイトル詐欺…そして話をいきなり先に進めすぎた… f ^ | ^ ;)」

ゼロ「まあ…それもこれも全部、次回話で書けば良いだけだろ？」

無神「ああ、そうだね」

ゼロ「何だよ！その顔は！」

無神「早くコラボまで話進めたいなあ…」

次回『異世界への旅立ち』

ゼロ「異世界へ行こう！あの二人も協力してくれるはずだ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6351z/>

劇場版 魔法少女リリカルなのは Brave Force of BatorFrontier

2011年12月24日12時48分発行